

<p>科目名：高性能論理回路特論 (英 文 名 : High-performance Logic Circuit Technology) 担当教員：後藤 源助</p>	<p>開講学期：後期 単位数：2 開講形態：講義（輪講形式）</p>
<p>開講対象： 電子情報工学専攻</p>	
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 論理回路の性能向上を実現する手法を身につけている ・ 論理回路設計の方法を体得している（設計ツールの利用など） ・ 目的に応じた演算回路を自由に設計できる <p>【授業概要・計画】</p> <p>論理回路設計に関する特定の教科書を読み合わせて、質疑応答形式で進める。必要に応じて他の関連した参考資料も読み合わせる。進度は学生の理解度と教科書の専門度に合わせて調整する。回路の性能は主として演算回路で決まるので、演算回路設計を重視する。演習問題で回路設計を行うことがある。</p> <p>【成績評価の方法と基準】</p> <p>教科書・参考書の方法論を具体化する課題の出来具合で判断する。 成績基準は到達目標への達成度となる。</p> <p>【参考書】</p> <p>教科書：“Digital Computer Arithmetic Datapath Design using Verilog HDL”, James E. Stine, Kluwer Academic Publishers（都合により変更する可能性がある）</p> <p>【担当教員の専門分野】</p> <p>集積回路設計、SoC 設計手法、計算機アーキテクチャ</p>	